



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東
 コード番号 6428 URL https://oizumi.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大泉 秀治
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 北村 稔 (TEL) 046(297)2111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,036	0.1	406	△53.3	396	△54.2	677	55.6
2024年3月期第3四半期	16,017	45.9	870	55.0	865	55.2	435	59.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 659百万円(129.2%) 2024年3月期第3四半期 287百万円(△30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	30.11	—
2024年3月期第3四半期	19.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,967	18,745	46.9
2024年3月期	41,940	18,356	43.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 18,745百万円 2024年3月期 18,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	12.0	12.0
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	12.0	12.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	5.2	1,050	3.3	970	△3.6	610	15.3	27.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	22,500,000株	2024年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,822株	2024年3月期	4,772株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	22,495,209株	2024年3月期3Q	22,495,275株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善に加え、インバウンド需要の拡大等により緩やかに回復しました。一方、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調による物価上昇が続き先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの基盤となるアミューズメント事業、成長の中核となる食品・EC事業においては、市場動向を的確に捉え、マーケットニーズに対応すべく競争力のある製商品の企画、開発を進め市場投入に努めてまいりました。

また、安定事業として位置付ける不動産事業、電気事業においては、安定的かつ継続的な収益確保に向け保守、管理の徹底に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高16,036百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益396百万円（前年同期比54.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益677百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(食品・EC事業)

食品・EC事業は、人々の美容・健康意識が高まる状況の中、付加価値の高い自社商品の開発をスピーディーに進め、オンライン・オフラインそれぞれの商流において、販売強化に努め、さらに自社商品だけでなく、商品開発実績・ノウハウを活用したOEM事業の拡大にも継続的に取り組んでまいりました。

株式会社下仁田物産では、注力していた認知度の向上、ブランドイメージの浸透を図り、蒟蒻ゼリー市場において台頭する大手企業の戦略に対抗すべく、OEM事業展開を推し進め、相手先ニーズへの柔軟な対応が評価され大手企業との新規取引を獲得いたしました。

また、食品関連展示会への出展を積極的に行い、国内顧客はもとより海外バイヤーからの引き合いも急増し、東南アジアをはじめ、欧州、北米など取引国も拡大しております。

一方で、販路拡大に伴う供給不足の発生に対応すべく新設工場の開設を進めており（2025年12月完了予定）、生産能力、生産効率向上を図るとともに、蒟蒻ゼリー市場に加え100%果汁ゼリー等の生産も着手し、事業拡大に向け販路拡大、増産体制の確立を目指しております。

また、日配品、菓子市場などのカテゴリに捉われることなく、付加価値を付した新商品の開発、市場投入に注力し、収益力、利益率向上を図ってまいります。

武内製菓株式会社では、主軸事業であるEC事業で得られたオンラインデータ及び卸事業において得られた小売等のオフラインデータを活用したマーケットインの商品開発・製造に注力し、新商品を継続的にリリースしております。また、商品開発・製造のノウハウを活用したOEM事業も対応カテゴリを増やししながら、継続的に成長を続けております。

バブルスター株式会社では、腸活の重要性やそれに伴う食物繊維摂取の必要性が世間で話題となり、関連市場の成長が続いている中で、スーパー大麦やイヌリン等の食物繊維カテゴリが好調な状況が続いており、新商品の市場投入も進めております。また販路拡大に応じて粉体の混合・充填工場の新設も完了し、今後更に高まる需要に向けて供給体制を整備してまいりました。卸事業の強化も進んでおり、オンライン・オフライン両軸での市場シェア獲得を進めております。

なお、当社グループの主要セグメントの一つである食品・EC事業の事業再編成の協議・検討を進めておりましたが、当第3四半期において当社が保有する連結子会社「妙高酒造株式会社」の発行済み株式の全部を譲渡いたしました。本譲渡に伴い、妙高酒造株式会社は連結対象外となりましたが、連結業績に与える影響は軽微です。

この結果、食品・EC事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高6,871百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益145百万円（前年同期比185.3%増）となりました。

(アミューズメント事業)

アミューズメント事業の主要販売先であるパチンコ業界では、7月の新紙幣発行に伴う遊技場における設備更新需要は拡大し、また、スマート遊技機、特にスマートパチスロ増台に伴う改装工事が活発化する等、当第3四半期連結累計期間における当社グループの周辺機器部門の受注並びに出荷は概ね想定通りに推移いたしました。

遊技機部門において、「Lパチスロ閃乱カグラ2 SHINOVI MASTER」他2機種をリリース、また、連結子会社の株式会社高尾が「Pクイーンズブレイド4 UNLIMITED」、「P D D北斗の拳3」他2機種を市場投入しましたが、想定の販売台数を下回り開発費用を吸収できず大変厳しい結果となりました。

この結果、アミューズメント事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高7,822百万円（前年同期比11.8%減）、セグメント損失9百万円（前年同期は451百万円の利益）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、より一層の安定的な収益確保に向け、収益性の高い、良質な賃貸物件を継続的に模索しつつ、不動産の保守、管理の徹底に努めてまいりました。また、経営資源の効率的活用及び財務体質の強化を図るため、保有資産の見直しを行い、連結子会社が所有する東京都千代田区内、並びに、神奈川県海老名市内賃貸用不動産を売却いたしました。

この結果、不動産事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高609百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント利益310百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

(電気事業)

電気事業は、継続的安定供給に向け、太陽光発電設備の徹底した保守、管理を実施し、順調に稼働させており、安定した収益を確保いたしました。

この結果、電気事業は、当第3四半期連結累計期間は売上高732百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益387百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（2024年3月31日）に比べ1,972百万円減少し、39,967百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ491百万円減少し、19,502百万円となりました。これは主に売掛金の減少（441百万円減）、電子記録債権の減少（445百万円減）、商品及び製品の減少（160百万円減）、原材料の減少（249百万円減）の一方で現金及び預金の増加（380百万円増）、仕掛品の増加（304百万円増、その他流動資産に含まれる前払費用の増加（118百万円増）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,481百万円減少し、20,465百万円となりました。これは主に連結子会社所有の賃貸用不動産の売却及び妙高酒造株式会社の連結除外に伴う建物及び構築物の減少（332百万円減）及び土地の減少（1,131百万円減）、機械装置及び運搬具の減少（219百万円減）、のれんの減少（180百万円減）の一方で、リース資産の増加（99百万円増）、繰延税金資産の増加（148百万円増）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,362百万円減少し、21,221百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少（163百万円減）、電子記録債務の減少（132百万円減）、短期借入金の減少（102百万円減）、流動負債その他に含まれる未払金の減少（391百万円減）、妙高酒造株式会社の連結除外等による長期借入金の減少（1,881百万円減）、再生債権等の減少（98百万円減）の一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加（148百万円増）、未払法人税等の増加（151百万円増）、リース債務（固定負債）の増加（104百万円増）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ389百万円増加し、18,745百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（407百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は46.9%と前連結会計年度末に比べ3.1ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月13日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,000,277	8,380,799
受取手形	123,882	167,396
売掛金	1,571,330	1,129,342
電子記録債権	1,809,872	1,364,166
商品及び製品	1,477,709	1,317,088
仕掛品	818,887	1,123,564
原材料	3,381,276	3,132,251
前渡金	2,484,517	2,421,963
その他	327,898	467,524
貸倒引当金	△1,898	△1,951
流動資産合計	19,993,754	19,502,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,986,804	4,654,106
機械装置及び運搬具(純額)	2,112,942	1,893,601
工具、器具及び備品(純額)	201,928	266,768
土地	10,411,053	9,279,788
リース資産(純額)	185,100	285,084
建設仮勘定	63,506	57,409
有形固定資産合計	17,961,335	16,436,758
無形固定資産		
ソフトウェア	69,488	51,560
のれん	2,160,597	1,979,766
その他	17,426	16,145
無形固定資産合計	2,247,512	2,047,472
投資その他の資産		
投資有価証券	432,537	409,913
長期貸付金	1,627,168	1,712,448
繰延税金資産	200,684	349,212
長期前払費用	314,662	328,586
その他	418,745	437,104
貸倒引当金	△1,256,282	△1,256,282
投資その他の資産合計	1,737,515	1,980,982
固定資産合計	21,946,364	20,465,213
資産合計	41,940,118	39,967,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,711	751,470
電子記録債務	1,275,356	1,143,184
短期借入金	1,902,920	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	3,406,481	3,555,011
リース債務	47,096	54,251
未払法人税等	218,961	370,156
賞与引当金	75,681	37,608
製品保証引当金	8,000	4,000
その他	1,294,809	932,383
流動負債合計	9,144,017	8,648,065
固定負債		
長期借入金	12,123,333	10,242,167
リース債務	159,526	264,236
役員退職慰労引当金	400,612	408,646
製品保証引当金	107,200	106,160
退職給付に係る負債	165,511	161,650
長期預り保証金	702,538	711,428
資産除去債務	338,877	340,832
再生債権等	411,679	313,081
繰延税金負債	5,136	3,272
その他	25,653	22,253
固定負債合計	14,440,069	12,573,729
負債合計	23,584,086	21,221,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	16,551,994	16,959,464
自己株式	△4,362	△4,380
株主資本合計	18,228,231	18,635,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,799	109,881
その他の包括利益累計額合計	127,799	109,881
純資産合計	18,356,031	18,745,564
負債純資産合計	41,940,118	39,967,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	16,017,740	16,036,819
売上原価	10,612,526	10,884,553
売上総利益	5,405,213	5,152,266
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	451,051	679,013
荷造運賃	870,748	970,978
販売促進費	1,083,608	939,431
役員報酬	201,335	190,210
給料手当及び賞与	529,482	576,014
賞与引当金繰入額	45,726	46,695
退職給付費用	11,020	26,578
役員退職慰労引当金繰入額	5,515	8,033
製品保証引当金繰入額	8,000	4,000
貸倒引当金繰入額	△1,081	53
その他	1,328,857	1,304,263
販売費及び一般管理費合計	4,534,264	4,745,272
営業利益	870,949	406,994
営業外収益		
受取利息	6,255	7,241
受取配当金	9,298	12,506
雇用調整助成金	200	—
その他	76,210	64,684
営業外収益合計	91,964	84,432
営業外費用		
支払利息	73,605	75,877
その他	23,576	19,100
営業外費用合計	97,181	94,977
経常利益	865,732	396,448
特別利益		
固定資産売却益	64,874	690,209
債務免除益	790	2,776
その他	—	22,501
特別利益合計	65,665	715,487
特別損失		
固定資産除売却損	120,156	1,807
子会社株式売却損	—	50,264
会員権解約損	18,498	—
災害損失	—	10,478
特別損失合計	138,655	62,549
税金等調整前四半期純利益	792,742	1,049,386
法人税、住民税及び事業税	265,984	515,490
法人税等調整額	91,441	△143,517
法人税等合計	357,426	371,973
四半期純利益	435,315	677,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	435,315	677,412

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	435,315	677,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147,530	△17,918
その他の包括利益合計	△147,530	△17,918
四半期包括利益	287,784	659,494
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	287,784	659,494
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	アミューズメント事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1)外部顧客に対する売上高	8,869,544	668,698	750,615	5,728,881
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,729	—	6,443
計	8,869,544	689,427	750,615	5,735,325
セグメント利益	451,926	353,378	395,619	50,930

	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高			
(1)外部顧客に対する売上高	16,017,740	—	16,017,740
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	27,173	△27,173	—
計	16,044,913	△27,173	16,017,740
セグメント利益	1,251,855	△380,905	870,949

(注) 1 セグメント利益の調整額△380,905千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アミューズメント事業	不動産事業	電気事業	食品・EC事業
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	7,822,891	609,497	732,458	6,871,972
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,514	17,600	—	4,981
計	7,826,405	627,097	732,458	6,876,954
セグメント利益又は損失(△)	△9,492	310,888	387,277	145,311

	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	16,036,819	—	16,036,819
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,095	△26,095	—
計	16,062,915	△26,095	16,036,819
セグメント利益又は損失(△)	833,985	△426,991	406,994

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△426,991千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	722,165千円	632,073千円
のれんの償却額	180,830千円	180,830千円